



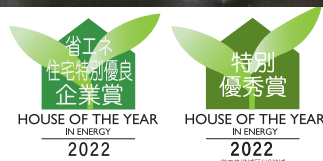
V10

ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー 年連続選ばれました。

おかげさまで「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」今年で10年連続受賞となりました！2022年度は「特別優秀賞」「省エネ住宅特別優良企業賞」の2部門で賞をいただきました。皆様のおかげで、初参加から毎年賞をいただく事ができ、深く感謝しております。省エネルギーやCO2削減等へ貢献する優れた住宅を表彰するのが「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」です。では、省エネ住宅とはどんな住宅なのでしょう？省エネルギー住宅とは、断熱や気密を高めることにより、エネルギーの消費を抑えながら、プラスして太陽光発電システム等を使用することで、CO2も削減することができます。化石燃料に依存しない生活ができるようになると、CO2を削減することができ、温室効果ガスの削減にもつながります。私達は、暮らしの中で知らず識らずのうちにCO2を排出しています。一軒の家の取り組みでは、地球環境を変えることはできないと思いますが、一軒が百軒、千軒と増えることにより、環境を変えていくことが出来ると信じています。これからも、環境に優しい家づくりを続けてまいりますので、よろしく願いいたします。

【ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー】概要

「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」表彰制度は、(財)日本地域開発センター（主務官庁：国土交通省）が実施する省エネルギー住宅のトップランナーを選定する表彰制度です。建物躯体と設備機器をセットとして捉え、トータルとしての省エネルギーやCO2削減等へ貢献する優れた住宅を表彰する制度です。



梅雨時期だから外壁塗装お得！ ワクワクキャンペーン中！

ミツワからのお知らせです。「ワクワクキャンペーン」実施中です。是非、この機会にお得な外壁塗装で家をメンテナンスしてはいかがでしょうか。



編集後記

田んぼに植えられた苗の早緑色がきれいな季節になりました。晴れた日には、田んぼにはられた水に、空や周りの景色が映り込み、今しかない景色を見せてくれていますね。今年も「ハウス・オブ・ザ・イヤー・イン・エナジー」の賞をいただく事ができ、皆様本当にありがとうございました。これからも、四季折々の美しい景色を、変わることなく見ていけるように、環境に優しい家づくりを続けていきます。

この1年は「変化」を求められる1年でした。私達の置かれている環境も地球の環境も、どちらも変えるという事は容易いことではありません。対談の中で、先日、志水会長と熊坂社長は修行の山で知られる七面山へ登られたと伺いました。一步一步登って行く所が、人生に似ているとおっしゃっていました。人生も、山登りも、容易く山の頂きに立つことはできません。自分と向き合い、一步一步進んで行きます。足取り軽く、早く進める時もあれば、進んでも進んでも変化しているのに気づかない時もあります。それでも歩みを止めなければ、必ず山の頂きに立ち、素晴らしい景色を見る事ができるでしょう。そしてまた、新たな高みへの挑戦が続く……。環境を変える事は、目に見えない分、分かりにくいと思いますが、5年後10年後、変わっていることを信じ進んで行くことだと思います。地球環境も、新体制での環境作りも、今よりもっと良くなる事を信じ、一步一步取り組んでまいりますので、今後ともよろしく願いいたします。



SANWA Group

株式会社 三和住建

☎ 042-794-3030

東京都町田市忠生3-7-15

リゾール
フォームショップ三和 株式会社

☎ 042-794-0320

東京都町田市忠生3-7-21

資産活用 ご縁の窓口

☎ 042-794-3015

東京都町田市忠生2-28-3



www.sanwajuken.com

さんわ四季報

SUMMER
2023 vol.86



interview

社長就任から1年を振り返り 今後の目標を語る。

社長就任から1年を迎えられた熊坂社長と志水会長を交えた対談形式でインタビューをさせていただきました。

就任から一年を振り返ってどんな一年でしたか？

熊坂：三和住建を知るための時間でした。一番注力したことは三和住建の文化ですね。志水さんがされてきたことは何か、大切なものは何かを、知る一年でした。その中で、不易流行を見定め、方向性を決める一年でした。

一年前と現在で社内の変化はありましたか？

熊坂：この一年でメンバーとの信頼関係も少しずつ変化してきました。今は皆さん、自分に向き合ってくれているのを感じています。人間関係が出来てきて「さあ、これからやっていくぞ」という、やりがいを感じています。

志水：三和住建の社員は、だいたい熊坂さんになったんじゃないですか（笑）？！

熊坂：いやいやいや（笑）。志水カラーは抜けませんよ。それで良いと思っています。志水カラーがあって、熊坂カラーがあれば良い。カラーを決めずに、両方が混ざった時もっと強くなると思います。

志水：そうですね。着物で例えると、着物という変わらないものがあって、その時代の流行りによって、帯や小物で着回しかたに変化をつけて楽しむ様な、ミックスしながら新しいことにチャレンジしていけると良いですね。変化していけないと時代に取り残されてしまう気がしますから。

熊坂：先日、変化できる者が一番強いという話をメンバーにさせてもらいました。社長が変わった事で明らかに環境は変わったので、追従して欲しいと思います。私は会社を大事にしたいし、社員を大事にしたい、町田も大事にしたい。志水さんも同じ思いでやってきていると思います。



志水：熊坂さんに継いでもらったのは、目指している所が一緒だからですね。「家族を大切にしている」という文化が熊坂さんと同じで、アプローチの仕方は違いますが、向いている方向は同じですね。方向性は同じだということはお客様にも分かっていたきたいですね。家族が楽しい事、家族が喜ばしい事に主眼をおいているお客様と共に家づくりをしていきたいですね。

今後の目標を聞かせてください。

熊坂：一年目は知る年でしたが、今年、来年で別の体制も整えて行きます。志水さんのお仕事にも携わりながら、携わることで三和住建を引き継ぐことができると考えています。目標というよりはやることですね。

志水：三年で熊坂ラインに乗せたいと思っています。自分の役目は、お世話になったお客様の窓口、新しいお客様を熊坂さんに繋ぐ橋渡しをすることと思っていますので、今年、来年と応援していきます。二人で堅実に、コツコツやって行きたいですね。

最後に、お二人が大事にしていること、大切にしていることを教えてください。

熊坂：人が一番大事だと思っています。身近な人、社員やその家族、協力業者さん、お客様。人をどういう風に大事にしていけるかを、大切にしています。私と縁あって知り合った人を大切にしていきたいです。

志水：私は、ご縁ですね。ご縁の中で生かされていると思うので、感謝です。頭の中は「ご縁、生かされている、感謝」がグルグルしています。

短い時間ではありましたが、貴重なお話をたくさん伺うことができました。全てを掲載出来ないのが残念です。今回のインタビューの中で、お二人がとても「家族」を大切にしている事が分かりました。そのことが三和住建の核になっていると感じました。これからの三和住建も楽しみです。志水会長、熊坂社長、ありがとうございました。



開放感あふれるリビング + 家事動線を考えた家。

広いお庭と開放感あふれるリビングが心地よい K 様邸。これまで賃貸住宅で暮らしていたご夫婦は、お子さまの誕生を機に、家族全員が快適に過ごせる家に住みたいと思うようになり、戸建て住宅を建てることを決めました。土地探しを始めてから 1 年近くかけてようやく理想の土地が見つかり、家づくりがスタート。「土地のことを相談していた不動産屋さんに、自分達の住みたい家は、『夏涼しく、冬暖かい性能の良い家』と伝えたところ、三和住建が良いのではと紹介されました。実際にモデルハウスを見学に行ってみたところ、住宅性能の高さはもちろんの事、営業担当の志水さんが親身にお話を聞いてくださり、とても信頼できる方だと思いお願いすることにしました。」とご主人。高気密高断熱住宅は四季を通して、室内温度と湿度が変わらず安定しているとお話してくれました。休日は日差しの差し込む明るいリビングでおやつを食べたり、テレビを見て家族みんなで過ごす時間を楽しんでいます。

私たちのおうち
見てください

リビング
+ 吹き抜け

明るい日差しが心地よい吹き抜け

リビングの天井は、吹き抜けとなっており、窓からは明るい光が降り注ぎます。「モデルハウスの吹き抜けの光を取り入れてる感じが気に入っていました。天井が高いと部屋がさらに広く感じますし、開放感が出ました。」とご主人。階段を登った 2 階の手すり部分も、通常は腰高まである壁を設けますが、木質手すりを採用し、壁と比べ、圧迫感がなく、2 階との繋がりをを感じる事が出来て、より空間を広くとらせています。

◀吹き抜けリビング

▲木質の手すり

家事動線

ラクラクの家事動線

一直線に続く、玄関→キッチン→洗面と浴室の間取りは無駄のない家事動線を実現しました。「買い物から帰ってきて、子供を抱っこしたまま、食材をキッチンへ持っていく事ができますし、公園からの帰宅後、子供の手を洗うのも玄関から一直線で無駄がないです。毎日の事なので少しでも家事動線が短いと助かります。」と奥様。洗面室はリビングとも繋がっていて、ぐるぐると回れる回遊動線は暮らしやすい間取りです。



玄関から 1 直線に
続く家事動線

ゆとりのある ファミリークローゼット

部屋を出来るだけ広く設けたいと考え、各部屋にはクローゼットは設けず、共有の広いファミリークローゼットを作りました。「実は、子供の洋服は着替えが多くすぐに取り出せるリビングの収納を使っていて、ここはまだ夫婦だけが使っている状態なんです。なので、まだ家族全員が使っている場合の使い勝手がわからないのですが、部屋を広く使っていて満足しています。」とご主人。まだまだ収納出来る大きなファミリークローゼットは、お子様の成長と共に使い方にも変化がありそうですね。

まだまだ収納できる
ファミリークローゼット



子供部屋

将来を見据えた子供部屋

子供部屋として使う部屋は、2 つに仕切れるように入口の扉を 2 つ設けました。中央に下がり壁を設けたことで、将来、2 部屋に変更することが出来ます。



2F ホール

カウンター付き洗面台+ランドリースペース

階段を登るとホールに、ライトと壁紙がポイントのカウンター付きの手洗いコーナーがあります。「当初、洗面台だけだったのですが、カウンターをつけたことで、空間と一体感が生まれました。」カウンターは大工さんが作るオーダーメイドで、サイズもピッタリです。注文住宅ならではの工夫を生かしています。そして、日差しが差し込む室内干しスペース。「子供の洗濯物が多いので、このスペースを作っておいて本当に良かったです。よく乾きますし、特に天気の良い日は助かっています」と奥様。



壁紙

お気に入りの壁紙

キッチンの壁紙は、グレーを基調とし、一面をタイル柄の壁紙にして雰囲気を持たせました。派手すぎず、少し遊びごころも取り入れた空間です。またトイレの壁紙は桜模様の柔らかく温かみがある壁紙を選びました。どちらもご夫婦こだわりのお気に入りポイントです。



収納スペース

充実の 収納スペース

収納スペースを多くとったことで、家中いつもすっきり広々空間を保てます。特にリビングには大きな収納や細かな収納を設けたことで、お子様の洋服をしまったり、掃除の時にもおちゃをサッと片付けたり、色々使い勝手が良いそうです。他にも適材適所収納を多めに設けました。

リビングの収納スペース ▶



広いお庭

これからが 楽しい広いお庭

お子様がのびのびと過ごせるように、広いお庭ができる土地をお探しでした。リビングに面したお庭は、現在どうしていこうかご夫婦で考え中です。「芝生やハーブを植えたいなと考えていますが、広いが故に何でも出来るので、迷ってます」と奥様。これからどのようなお庭になるか楽しみです。



家族の成長を楽しむ住まい

子育て環境を考えて、周辺道路やハザードマップも調べてこの土地に決めたそうで、ご家族を大切に思うご主人様のお気持ちが伝わりました。広いリビングではお子様がブランコに乗ったり、取材中も楽しそうに遊ぶ姿が可愛らしく印象的で、ご家族が楽しく暮らしている様子を伺うことが出来て大変嬉しく思いました。取材にご協力いただきましてありがとうございました。

K 様邸

伊勢原市



夫婦と子 1 人

延べ床面積 223.35 m²

敷地面積 108.06 m²

竣工 2022 年 1 月

